

J R 四国労組ニュース

令和4年7月11日（No.1 / 1） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／石川 敏也

第41回定期大会開催

J R 四国労組は7月8日（金）、高松市「J Rホテルクレメント高松」にて第41回定期大会を開催。昨年同様感染対策を徹底し、代議員、特別代議員のほか、今大会は3年ぶりに傍聴者も参集し、約120名出席のもと「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「労働環境の改善」を柱とした2022年度の運動方針を満場一致で決定した。



大谷執行委員長

執行部を代表し挨拶に立った大谷執行委員長は、コロナ禍により多くの活動が制約され、対面によるコミュニケーションを重要とする労働運動が思うように実施できなかったものの、力強く取り組んでくれた各級機関役員・組合員に対し謝辞を述べるとともに、3本柱の方針に沿った所信と合わせ、政策・政治の取り組みについて言及。組織一丸となって課題解決に向けて取り組む必要性を説き「コロナ禍前の環境に戻るには時間がかかると想定されるが、全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し、誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じた明るい未来を創造しよう」と訴えた。

大会には来賓として、連合四国ブロックより連合香川・福家会長、四国交運労協・砂田議長、J R 四国・西牧社長、ジェイアール四国バス・高須賀社長、J R 連合・荻山会長らが出席し、連帯と激励の挨拶を受けた。また、大会途中には第26回参議院議員選挙のJ R 四国労組推薦候補である川合孝典氏からも Zoom で激励を受けた。

議事では、執行部から「2022年度運動方針（案）・予算（案）」の提案があったほか、働く者の立場から中長期的ビジョンを展望し、誇りを持ち安心して働けることのできる環境の実現を目指す提言「私たちが考える『持続可能なJ R 四国



組織一丸となって取り組む想いを込め、力強い「団結ガンパロー」で新年度をスタート！

スローガン

団結 創造 実践

全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し
誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じた
明るい未来を創造しよう！

2022年度の運動方針を満場一致で決定！

グループの人財確保』（素案）」を提起。その後、代議員、特別代議員29名より質疑を受け、すべての議案が満場一致で可決された。最後に、J R 四国労組の責任ある労働運動を展開し、必ず来る明るい未来に向け、大谷執行委員長の「団結ガンパロー」で定期大会を締めくくり新年度のスタートを切った。

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

令和 4 年 7 月 1 1 日（N o . 1 / 2 終）発行責任者／大谷 清 編集責任者／石川 敏也

なお、定期大会終了後、第 1 回執行委員会を開催し、新役員の任務分担等を次のとおり決定した。

2 0 2 2 年 度 役 員 名 簿 及 び 任 務 分 担

役 職 名	氏 名	専・非	任 務	担当支部
執行委員長	大谷 清	専	総括	
副執行委員長	武智 義治	〃	業務、調査部長、四交運事務局長	愛 媛 徳 島
書 記 長	中村 鉄平	〃	総務、企画、財政、法対部長、部会担当	自動車
執 行 委 員	中野 圭司	〃	組織(出向・関連企業)、教育、政治・共闘、事業部長	高 知 本 社
〃	石川 敏也	〃	政策、情宣部長、青女担当(男女平等)、ゆ・サ・カ担当	香 川
〃	杉本 慶太	非	組織副部長	香 川
〃	山本 鉄平	〃	事業副部長	愛 媛
〃	井内 貴志	〃	業務副部長	徳 島
〃	河野 憲司	〃	政治・共闘副部長	高 知
〃	寶田 晃	〃	政策・調査副部長	本 社
〃	上田 耕成	〃	教宣副部長	自動車
〃	安藤 正春	〃	出向・関連企業担当	香 川
〃	島崎 隼途	〃	出向・関連企業担当	愛 媛
〃	笹岡 慎平	〃	出向・関連企業担当	徳 島
〃	山本 真二	〃	出向・関連企業担当	高 知
〃	和田 庄平	〃	出向・関連企業担当	本 社
〃	河野 鎮朗	〃	出向・関連企業担当	自動車
特別執行委員	森安 祐貴	専	J R 連合派遣	
〃	矢野 宏樹	非	青年女性会議	
〃	尾上 裕子	〃	青年女性会議	
会 計 監 査	大野 裕史	〃		
〃	三好 幸治	〃		
〃	岡本 茂	〃		

以上